

スマートウォッチに触れ、どんな機能があるのか分かしました。

机を離れ、街に出で観察

タングリルとは何なのかも覚えた後に、選んで好きなものの創造を行いました。

デザイン対象の設定

細胞から選ばれた細胞を元に、何をタングリルにするのか話し合いました。

タンジブルな○○

デザイン作品を実際に触れてここができる時に感じ、タングリル版○○として出来ました。

プロトotyping(試作)の練習

手筋(もじぢ)のオマケ(工作)の作法を覚えて、プロトotyping(試作)の練習をしました。

西部地区でフィールドワーク

実際に西部地区を見回り、どんな魅力があるのかを演説しました。

経験の視覚化

フィールドワークの感想項目に見える形で書きました。

図書モビリティ

今年春に開設された図書から、冬休みに図書館に行くことを提案しました。

タンジブルな○○作品一覧

公式アカウント

主催
公立はこだて未来大学 機械デザインコース
共催
公立はこだて未来大学 学術運営室/社会連携センター
後援
函館市青キセンターアジテー/ハコレコドット株式会社

※2014-2015はこだて未来2015WorkGroup

<p>情報デザイン2課題 タンジブルな○○</p> 	<p>この授業では学生が8グループに分かれ、触ることができる新しいものをつくりようとしたところからことで何がができるのを楽しむ、プレゼンテーションを行いました。この「タンジブル」の提案内容を発表してもらいます。</p>
<p>REMINDOOR- ルーム内での行動を記録する デバイス</p> 	<p>詳しい要説文はぜひ会場まで ご覧ください！</p>
<p>ARINO Group 1</p> 	<p>ARINOは、「ありがとうございます」 に気づくことができるリスト型のデバイスです。 REMINDOORと連携し、 外出時の不安が解消されます。</p>
<p>ARINO Group 2</p>	<p>Craberry Group 3</p> 
<p>「人のうっかり手を手のひら の隙に落す」を運動で覚える ARINO</p>	<p>Craberryは、世界のさまざまな動物を持つ生態系を再現できる装置です。左手の手袋を装着して操作することで、世界の2つの地域の気候変動を感じることができます。ユーザーによる世界の環境に因縁を持つきっかけを与えます。</p>
<p>funtousic Group 4</p>	<p>funtousicは、音に触れる ことを目標とした球状のデバイス です。音楽の新しい出発点として、世界の音楽を通じて音 楽を通じて「音に触れる」体験を 楽しむとリンクした音楽の楽しみ方を提案します。</p>
<p>glowve Group 5</p> 	<p>BLOP! Group 6</p> 
<p>「glowve」は日常の中で形 ない「光」を実体化し、 読み取ることができるタン ジブルです。「glowve」を 着用することで、あなたは 今までになかった「楽し み」を含む様々な体験をす ることが可能になります。</p>	<p>BLOPはアイディアを深め る際に使用します。六つの 色はそれぞれ感情的、情説的、 批判的、肯定的、創造的、 冷感的の意図を持って おり、また内向的の意識に することによって外向的の意見を 出せるようにしました。</p>
<p>Timemo Group 7</p> 	<p>Timemoは口約束形にし たストラップです。約束を 設定し、飛び出ボタンを 触りたりすることで約束が あることを感じることができます。 音声による記憶や、LEDの光の通知で、よ り約束を思い出せるよう支 援します。</p>
<p>LoBin Group 8</p> 	<p>手紙を送るのように、フレゼ ントを書くように、言葉だ って、書いてて届けて届け たい。「LoBin」は、遠くに 居る人に、ちょっとだけ特 別な想いを瓶つめて伝え る、メッセージボトルです。</p>

■ テイショップタ日

0-0055
北海道函館市船見町25-18

セス
バス停 船見町から徒歩5分
函館どつくから徒歩20分

14/12/14~2015/03/13開、テ
ショップタ日は休業とさせていた
だきます。
で駐車スペースをご利用いただけ
ショップタ日8時、横1台





■ テイショップタ日

040-0055北海道函館市船見町25-18
函館どつく
大通駅徒歩
の子デラックス
大通駅徒歩



©2013 Google - 地図データ ©2013 Google, ZINNEN, 利用規約

表が語るティショップタ日の魅力

未来では、ここにしなない古い空調気を有効的に活用する目的で、ティショ
タ日というお店を使わせていただくことになりました。そこで、ティショップタ
魅力について店長の大谷さんにお話を伺いました。



旧函館検疫所をカフェとして活用
当店は函館湾が一望できる最高光景な場所にあり、明治18年設立の旧函館検疫所をカ
フェとして活用しているものです。周囲には墓地があり、お墓参り後に立ち寄ってくだ
るお客様も多数おります。

多くの人を癒したい。お茶のおいしさを味わってほしい。
提供するのは日本茶が中心です。魚介で淹れて飲むお茶はコーヒーとは違うほっこり
感があります。わんぱく日常が生じる時代、職場・家庭・人間関係等で悩んで
いる方は多いと思います。ここで、多くの人を癒したい。お茶のおいしさを味わってほ
しい。この店を続けることで、少しでも何かのお役に立ちたいと思っています。ご来店
お待ちしています。

イショップタ日店長 大谷さん

日は大変暖くなります。

表によっては会場は大変暖りやすくなっている可能性がございます。

日の物品の紛失、万一の事故につきましては責任を負いかねます。ご了承ください。

展無事終りました！ 2015/01/10 掲載

1月17,18日に開催された「はこだて未来展2015」が無事に終わりました！

1日目には公開プレゼンテーション、ポスターセッション、パーティを行いました。 公開プレゼンテーションでは園庭モビリティ、タンジブルな〇〇について、各グループが発表しました。

園庭モビリティからは「FUN SHARE」「みつけ！せひる」が、タンジブルな〇〇からは「funtousic」、「glowee」が情報デザインコース卒業展示会ハミデル展に出席させていただきましたことをしました。

ポスターセッションでは主に先生や先輩との意見交換をしたり、アドバイスをいただきました。

パーティの時間では立派パーティーや演奏会などを行いました。

2日目は商品紹介ボスターとプロトタイプを設置して公開していました。 この日は未実装準備メンバーのみが会場に行き、地域の方と交流をしたり、1日目に来られなかった先生や先輩からアドバイスをいたしました。

今後も13期デザインコースは地域に密着しながらデザイン活動をしていきます。今後はここだて未来大学情報デザインコースの活動にご期待ください。

PVを公開しました 2015/01/10 Web

予告用動画を公開しました。
トップページよりご覧いただけます。

—ショップタ日めの雪かきをしました 2014/12/29 準備メンバー全員

未来展の準備メンバー3人と先輩、先生でティーショップタ日めの雪かきをしました。会場の駐車場、道路の雪を減らすためです。

天気に入れ、気温も高かったため雪は大方溶けていましたが作業時間は1時間以上かかりました。

雪の積もり真合からみて、1月の初めにもう一度雪かきをする予定をたてました。

『タンジブルな〇〇』学内発表会を行いました 2014/12/24 掲載

8グループに分かれ製作を進めていた「タンジブルな〇〇」の学内発表会が未来大学開講ミュージアムで行われました。

各グループがコンセプトや提案内容、プロトタイプなどをプレゼンテーションし、数回間に及ぶグループワークの成果を他の学生や教員へ向けて発表しました。

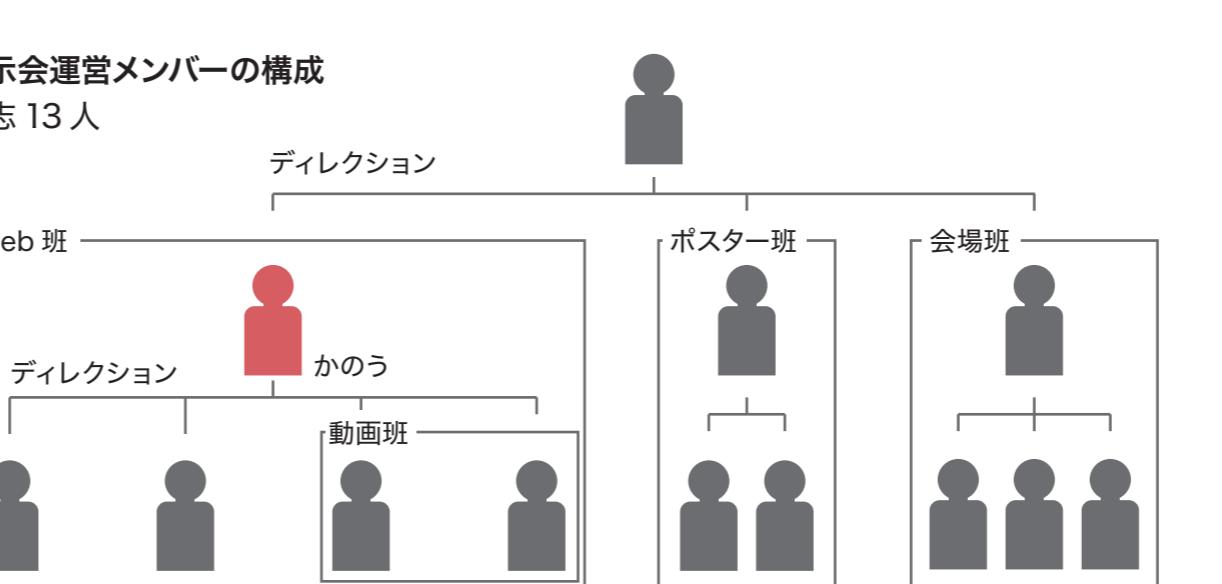
miraiten.jp/2015w/

はこだて未来展のwebサイトデザイン

13人グループ(web班は5人)

制作期間 2014/11 - 2015/1

自分の担当 web 班ディレクション、画面遷移図、画面デザイン



公式アカウント
> Facebook
> twitter

主催
公認はこだて未来大学・情報デザインコース
共催
公認はこだて未来大学・学術講演会・社会連携センター
後援
国際青色センター / 国際市 / ハコロードコム公式会社

© 2014-2015 はこだて未来大学 2015WorkGroup

はこだて未来展2015

未来展とは 作品 会場 活動記録

68
0

情報デザイン2課題
タンジブルな○○
実体化
目に見えない情報に直接触れられる
道具やくみの提案

情報表現基礎3課題
函館モビリティ
未来大学
未来大生が函館西部地区に行きたくなる
移動のしくみや活動の提案

概要 公開日 会場

2015
1/17・18.日
ティーショップタ日
函館市船見町25-18
開場時間 10:00~17:00
入場無料

公開プレゼンテーション
1/17 (土) 13:00~16:10

タンジブルな○○作品一覧 函館モビリティ作品一覧
制作プロセス

コンテンツ
> 未来展とは
> 作品
> タンジブルな○○
> 函館モビリティ
> 会場
> 活動記録

公式アカウント
> Facebook
> twitter

主催
公立はこだて未来大学 情報デザインコース
共催
公立はこだて未来大学 学術連携室 / 社会連携センター
後援
函館市青年センター / 函館市 / ハコレコドットコム株式会社

© 2014-2015 はこだて未来展2015WorkGroup

サイトを見た人が
展示会に来てくれるよう

最初に動画でわくわくしてもらう

ポスターに使われた図解をダイナミックに動かして展示会の概要を分かってもらい、わくわくしてもらえるような動画を最初に見せるレイアウトにした。動画の時間が長かったら途中で飽きてしまうと考えたため動画班には15秒以内の動画を作るよう指示をした。

作品一覧へと誘い展示会の展示物を知ってもらう

サイトを訪れ、動画→概要→公開日→会場を見たら作品については何も見ずにページを離れてしまうのではないかと考え TOP ページに作品紹介ページへとリンクするボタンを設置した。作品のテーマが函館に関係があったり変わってい他ので作品紹介ページを見たら展示会来場者が増えると考えた。

プレサイト完成までのプロセス

展示会集客に必要な情報を設計

ヒアリング

歴史ある建物を使ったカフェを宣伝



展示会場が歴史的建造物を使ったカフェであったためオーナーである大谷さんに魅力を語ってもらった。webサイトではその魅力を伝えるために会場の写真と大谷さんからのメッセージを記載することにした。

ワイヤーフレームの考案

メンバー全員で情報に優先順位を



web班のメンバー全員でプレサイトのワイヤーフレームを考えた。スピーディにコーディングができることとユーザーストーリーを考慮し載せる情報の優先順位を話し合った。

話題に上がるプレサイトで 展示会の存在を広く知ってもらう

はこだて
未来展2015

はこだて未来展2015では
公立はこだて未来大学2年情報デザインコースの学生達が
授業での成果を展示・公開プレゼンテーションします。

1/17・18 |日|

入場無料 開場時間10:00-17:00

下にスクロール

入場無料 開場時間10:00-17:00
公開プレゼンテーション
15/01/17 13:00-16:10

会場：ティーショップタ日（函館市船見町25-18）

本サイトオープン予定日
14/12/17 20

[公式アカウント](#) [公式アカウント](#)

トップに
もどる

主催：公立はこだて未来大学 情報デザインコース
共催：公立はこだて未来大学 学術連携室／社会連携センター
後援：函館市青年センター／函館市／ハコレコドットコム株式会社
© 2014 はこだて未来展2015WorkGroup Team-Web



クリックすると…

ポスター班がメインビジュアル、ロゴマークを完成させる前にも web サイトで広報をすることを目的にプレサイトを制作し公開した。プレサイトであるため内容の充実よりも話題性を重視し、フッターにいる運営メンバーが TOP に戻ると思いきや人物が上に飛んでいく UI を採用した。運営メンバーは毎回ランダムに出現する。

話題にはなったが
ユーザの想定の違う動きで評判はいまいち

先輩からのフィードバックとして、TOP に戻ると思って押した人物が想定と違い、人物だけが上に飛んでいつてしまうのでユーザは一瞬エラーを起こしたと思ってしまう。いい気持ちはしない。といったフィードバックをもらった。

メンタルモデルを勉強し 想定したことが起こるサイトつくりへ

ユーザの想定外な出来事が起こってしまう時の感情の変化やどのようなデザインをすればこちらが想定したメンタルモデルが形成されるかを勉強し、本公開時にはユーザの想定外なことは起こらないデザインにしようと心がける。

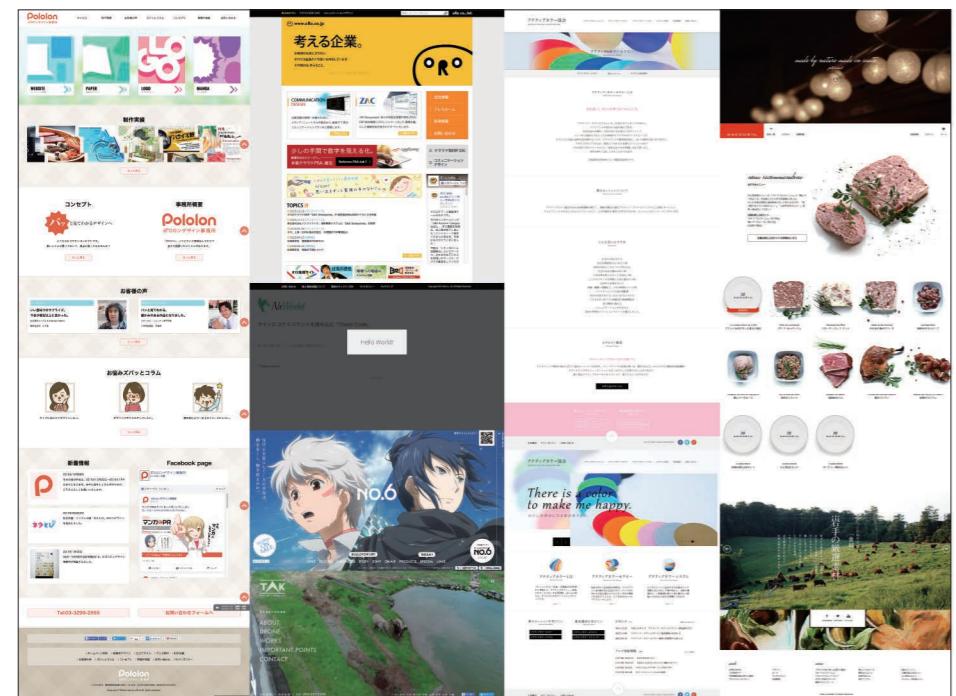


かのうが飛んでいく

本サイト完成までのプロセス

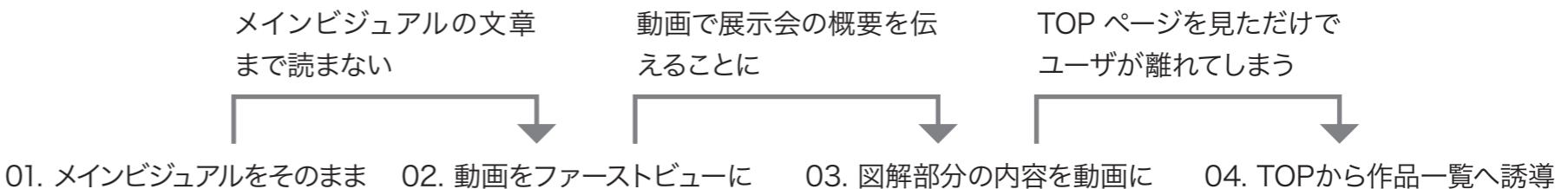
「構成」「ビジュアル」「挙動」の観点で既存のサイトをたくさん見る

メンバー全員で展示会のコンセプトを念頭におきながら web サイトをたくさん見て、今回の web サイトに使えそうだと思った部分があつたらブックマークをしていった。その後メンバー内で共有し、イメージの擦り合わせを行った。



Web制作会社社長、メンバーからフィードバック、改善

ポスター班が制作したメインビジュアルを使って TOP ページを試行錯誤した。函館市内の web 制作会社社長にお願いしてフィードバックをもらい改善を重ねた。



01. メインビジュアルをそのまま



02. 動画をファーストビューに



03. 図解部分の内容を動画に



04. TOPから作品一覧へ誘導



ポスター班が制作したポスター

作品を図解したメインビジュアルを含んだデザインになっている。



タンジブルな○○作品一覧

クリックしたら別ページにリンクすることが分かるボタンに

プレサイトで反省した通り、ユーザがこのボタンをクリックしたらどうなるか想像しやすく、その想像した通りに動くことを意識してボタンをデザインした。

メインビジュアルに沿って正方形を反復したデザインカンプ

The screenshots show the website's layout, featuring a header with navigation links (Home, Work, Venue, Activity Record) and social media icons (Facebook, Twitter). The main content area displays various projects from different groups:

- Group 1:** REMINDOOR (人間のうきわ) - A device that vibrates to remind users about important things.
- Group 2:** ARINO (アリーノ) - A device that vibrates when you say "thank you".
- Group 3:** °Craburu (カブリュ) - A device that measures temperature differences between two locations.
- Group 4:** funtousic (ファンタジック) - A device that uses sound to measure temperature.
- Group 5:** glowve (グローブ) - A glove that changes color based on touch.
- Group 6:** BLOP (ブループ) - A device that uses a six-pointed star shape to make agreements.
- Group 7:** Timemo (ティメモ) - A device that sends messages via paper.
- Group 8:** LoBin (ロービン) - A device that stores messages in bottles.

Each project includes a small image, a group name, and a brief description. At the bottom of the page, there are sections for 'Contents' and 'Official Accounts'.

作品の概要のみを見て 展示会でもっと見たくなる

web サイトで展示会の全てを見てしまったらそれで満足してしまうと考えたため作品概要のみを記載した。そして気になった人が展示会場まで足を運んでもらうことを狙った。作品を作った各グループにはイメージ画像と概要説明文を依頼して書いてもらった。

会場である歴史的建築物を 使ったカフェの魅力を紹介

展示会場として使わせてもらうことになったティーショップタ日というカフェは歴史的建造物を使っている。ヒアリングの結果、そこには店長である大谷さんのおだわりがあったのでその思いを来場者にも伝えたいと思い web サイトに載せることにした。

初めての web デザイン ユーザビリティの重要性を学ぶ

ポスターのデザインと同様に縦幅に大きくマージンを取るとスクロール量が増え、見える量も減ってしまう。ユーザの想定と異なる挙動をすると混乱を招く危険がある。など様々な反省点があったが web サイトを見て展示会に来たという話を聞くとともに嬉しかった。